

美浜町小中一貫校整備基本構想

令和6年3月

目的

令和10年度を目標に、すべての児童生徒が通学する魅力ある小中一貫校を、日本福祉大学美浜キャンパス内に設置し、本町の特色を活かした「新たな学校教育の創造」を目指すため、事業実施に向けた基本構想を策定する

美浜町の学校施設の課題

- 1) 児童生徒数の減少に伴う学校小規模化
- 2) 学校施設の老朽化
- 3) 町の財源不足

学校再編の経緯

- 美浜町小中学校再編のための基本構想（平成29年度）
- 美浜町学校施設等個別計画（平成30年度）
- 美浜町小中学校再編実施計画（令和元年度）
- 河和小学校と河和南部小学校の統合（令和4年度）
- 夢づくりワークショップ（令和4年度）
- 学校づくりワークショップ（令和5年度）

学校再編の基本的考え方

心身の発達に応じて、義務教育として行われる教育を基礎的なものから一貫して施すことができるよう、9年間を通じて教育課程を編成し、系統的な教育を目指すべく既存の小学校と中学校を新設する小中一貫校に統合する

○学校再編の基本コンセプト○

「子どもたちにとってより良い教育環境」を目指し、学校と地域の活性化を推進します

- 1 活力ある学校づくり
一定規模の集団の中で、多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて資質や能力を伸ばします。
- 2 適正規模と適正配置
クラス替えが可能な規模を目指します。
- 3 地域とともにある学校づくり
スポーツや文化活動の社会教育利用や地域防災拠点としての役割の充実を図ります。

住民参加のワークショップ

夢づくりワークショップ（令和4年度）

- 第1回「夢：こんな学校に通ってみたい！」
- 第2回「子ども：こんな学校で学んでみたい！」
- 第3回「美浜：美浜の宝物を話し合おう！」
- 第4回「地域：地域にとって学校って何だろう！」

学校づくりワークショップ（令和5年度）

- 第1回「子どもたちの交流」
- 第2回「地域と学校の連携」
- 第3回「大学と学校の連携」
- 第4回「基本構想の骨子」



特色ある美浜の教育の推進

- 1) ふるさと学習（9年間の系統的な教育課程）の推進
 - ① 美浜のよさを知る学習、体験する学習
 - ② 美浜のよさを発信する学習
 - ③ 将来の美浜を考える学習
- 2) 日本福祉大学との連携
 - ① 質の高い教育の提供
 - ② 大学生による支援
- 3) 施設一体型の小中一貫校のよさを生かす教育の推進
 - ① 発達段階に応じた継続的、系統的な学習指導や生徒指導の推進
 - ② 縦割り活動と異学年交流の推進

小学校課程						中学校課程		
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9年間の切れ目ない教育の推進								
前期			中期			後期		
学習指導、生活習慣の基礎基本の定着			小・中学校の円滑な接続 学習の習熟			自己の適性を考えた進路選択		
学級担任制			教科担任制 (一部教科)			教科担任制		
縦割り活動・異学年交流(憧れ・自覚・思いやり)								

ふるさと美浜、未来を創るみんなの学校

—小中一貫校の基本的な考え方—

1. ふるさと美浜の学校

1-1 風土と歴史

- 1) 気候と地形
温暖な気候とみどり豊かな地形を活かす
- 2) 旧学校の歴史継承
伝統文化を育んできた旧学校の歴史を引き継ぐ

1-2 学校づくりへの参画

- 1) 設計・施工プロセスへの参画
関係者が設計・施工に参加する機会を設ける
- 2) 学校運営への参画準備
学校運営協議会につながる準備委員会を設置する

2. みんなの学校

2-1 安全と安心

- 1) 堅牢な学校
施設の耐震性能、耐火性を確保する
- 2) 防犯対策
不審者の侵入防止のため防犯設備を整備する

2-2 持続可能性

- 1) エコスクール
環境負荷の低減や自然との共生を目指す
- 2) 変化への対応
学級数の増減等に対応できる計画とする
- 3) 容易な維持管理
維持管理が容易で、更新の容易な設備等とする

2-3 地域との共創

- 1) 地域学校協働本部の設置
学校と地域をつなぐ地域学校協働本部を設置する
- 2) 大学・高校との連携
交流活動が円滑にできる施設配置とする
- 3) 子育て支援機能
子育て支援に資するスペースの設置を検討する

3. 未来につながる学校

3-1 利用者に優しい

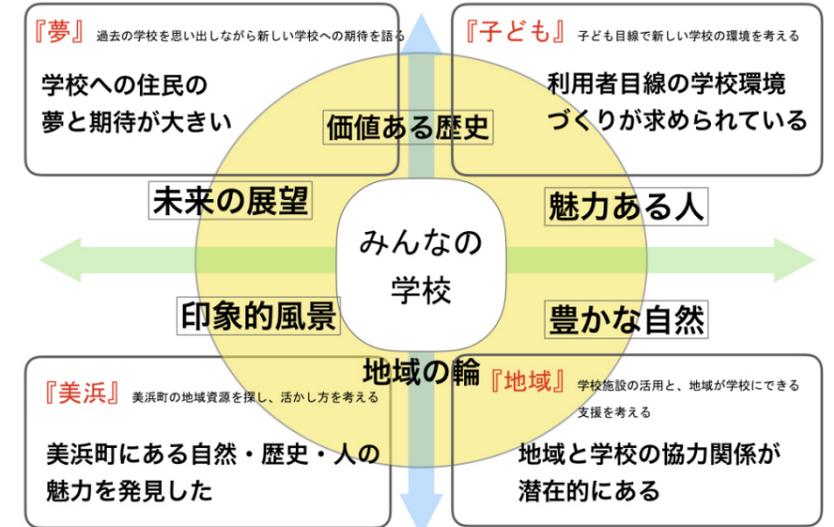
- 1) 多様な利用者の受入れ
利用者に優しいユニバーサルデザインとする
- 2) 居心地の良さ
愛着の感じられる空間やインテリアを整備する
- 3) 教育的支援の必要な子ども
教育的支援の必要な子どもの生活環境を整える

3-2 小中一貫校

- 1) 小中の一体性
小中学校が同一施設で一体的に運営できる
- 2) 学年の構成
同一学年の教室群の領域性を確保する
- 3) 交流スペース
児童生徒が交流できるスペースを計画する

3-3 次世代の学習環境

- 1) 屋内外の学びの場
学校全体を学びの場として整備する
- 2) 多様な学習環境
多様な学習形態に対応できる環境を整備する
- 3) デジタル環境の充実
活用しやすいICT環境を整備する



ふるさと美浜の学校（令和4年度ワークショップ）



大学との連携（令和5年度ワークショップ）

事業スケジュール

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本構想	設計者選定	基本計画 基本設計 実施設計	造成設計 造成工事	建築工事	開校 入学式
	事前協議			開校	小中一貫校運営
	カリキュラム検討、地域・大学連携検討、開校・閉校準備など				
	通学方法などの検討				
	跡地利用の検討				